

No.1612

第1613 回例会

2014年2月14日(金) 12:30～13:30

点鐘

ロータリーソング “我等の生業”

会食(洋食)

会長会務

*ビジター・ゲスト紹介。

*木の話(28)。

北海道旅行で必ずバスガイドさんが教えてくれる木は、トドマツ・エゾマツです。今日はまず、マツ科・モミ属のトドマツについて、お話します。



*2月の誕生祝を差し上げます。

麻木宏栄 岩ノ上洋一郎 生馬美津雄
川越治郎 金本勝彦 岸本 潤 田中宏和
中本 尚 瀧本真一 山本文正 倭島昭博の
各会員

バースディソング斉唱

幹事報告

*東部5RC合同例会に伴う例会変更のご案内

鳥取	3月 6日(木)	} 3月7日(金) に変更
鳥取北	3月11日(火)	
智頭	3月 5日(水)	
鳥取中央	3月10日(月)	

ビジターの受付は其々定時定例会場にて

*理事会報告。

*例会後、クラブ奉仕委員長会議を開催します。

委員会報告

*親睦活動・出席委員会

出席率・スマイル報告

*その他

卓話「マンガの描かれた鳥取砂丘」

鳥取市中央図書館 館長 西尾 肇さん

先週(第1612 回例会)の記録

2014年2月7日(金) 12:30～13:30

赤木三郎名誉会員のご冥福を祈り黙祷

会長会務

*去る2月5日、第23代会長を務められました赤木三郎名誉会員がご逝去されました。

ここに謹んで心よりお悔やみを申し上げます。

*木の話(27)ヒノキに比べてさわらか(さっぱり)であることから命名されたサワラについてお話しします。

初めて樹木を学ぶ時、良く似た木が3つあるが気になりました。葉の形が同じで分厚いのがアスナロ、次がヒノキで一番薄いのがサワラと覚え、一生忘れられません。

サワラは岩手県以西の四国・九州の山中に野生する常緑高木です。しばしば人口造林され、また庭園にも植えられています。樹高は30m、胸高直径1mにも達します。

葉はヒノキと同様で先が鋭く尖ります。花は4-5月に咲き、雌雄同株です。雄花は小枝の先に咲き、球果は球形で径0.5～0.7cm、枝にむらだつて付いているが目立ちます。

遺体では小枝と、球果が古い遺跡から多数発見されており、過去はヒノキより多かったのではないかと思います。

心材はくすんだ帯黄淡褐色で、ヒノキの香気光沢はなく、材は劣ると言われています。しかし、有名な木曾節では、「木曾の銘木ナンジャラホイ、ヒノキ、サワラよいよいよ」と謡われます。

幹事報告

*ガバナー事務所より、2016年度規定審議会、立法案提出期限の締切りのご案内。

2014年12月31日です。

*昨年度ロータリー財団に寄付された方に、確定申告用領収書が参っております。該当者に配布しています。

*2014～2015年度ロータリー手帳のご案内。希望者を回覧します。1冊648円

* 例会変更のお知らせ。

倉吉東 2月20日(木)を19日(水)へ
ビジターの受付は定刻事務局にて。

* 東部5RC合同例会の会費を次週より集めさせていただきます。

出席率

2月 7日 会員 53名 欠席 14名 73.08%
1月24日 の補正 82.69%

スマイル

* 西尾 茂会員 / 赤木先生のご逝去、誠に残念です。心よりご冥福をお祈りします。

いなば幸朋苑の森山大介さん、職業奉仕賞表彰、おめでとうございます。

* 竹内 隆会員 / 赤木三郎名誉会員のご冥福をお祈りいたします。

* 加藤一吉会員 / 職員の職業奉仕賞、ありがとうございます。

* 岸本 潤会員故 / 赤木先生のご冥福を表心よりお祈りいたします。

* 米本哲人会員 / ①2月1日、油谷さんご迷惑かけました。②麻木先生、ありがとうございました。

* 葉狩弘一会員 / 赤木名誉会員のご冥福をお祈りいたします。

* 森下哲也会員 / 赤木三郎先生のご冥福をお祈りいたします。

* 田淵敏夫会員 / 赤木先生のご冥福をお祈りいたします。

* 田中宏和会員 / 赤木先生、残念です。

* 山下聖児会員 / 赤木先生、またゆっくりお話ししたかったです。残念です。

* 金田卓也会員 / 先日、政経レポートと山陰経済研究所の取材を受けましたので。チラシを持って帰ってください。

* 早退4件 合計21,000円

雑誌委員会 加藤一吉会員

ロータリーの友2月の紹介。

2月は世界理解月間です。平和の真の意味について等の内容紹介。

職業奉仕賞表彰

いなば幸朋苑 主任 森山大介さん

* 山村保雄職業奉仕委員長

森山氏は、いなば幸朋苑設立以来19年間、高齢者の在宅復帰、認知症介護に携わり、その職務態度はとて熱心で福祉に必要な各種資格も多数習得され、鳥取県介護老人保健施設会長賞も受賞されておられます。そして、地域包括ケアシステムの構築維持発展のために中心的役割を果たしてこられ、現在もご活躍中です。その功績に対して、この度職業奉仕賞を差し上げることにいたしました。

* 会長より、森山さんに賞状と記念品の授与。

* 森山大介さんごあいさつ

認知症の方というのは、意思の疎通が思うように出来ず、お互いの信頼関係を築くのに大変な面があります。私が19年間今日まで勤務できたのは、加藤施設長はじめ多くの職員の方々の支えがあってこそだと思っています。また、自分のやりたいことを思いきりやらせていただいて、見守っていただける温かい職場の雰囲気やシステムがあったお陰です。

私は阪神大震災のときに被災しました。その頃は学生でしたが、当時の様子がまるで夢のように脳裏に焼きついています。幸いなことに無事であったので、何か自分に出来ることはないだろうかとボランティア活動を行ないました。

ボランティアにはきちんとした食事や寝る部屋が与えられることにまず驚きました。被災された多くの方々が満足に食事が出来ず、狭い場所に押し込められるように寝ておられるのに、果たして自分は食事を配ることだけで良いのだろうか、一時期自己嫌悪にもなりました。

ボランティアをやっていて、奉仕の気持ちというのは、喜んでもらったという事実だけであること、見返りは求めないこと、更に相手の心をいかに読み取るかということの大切さを学び、この経験から介護の世界に入って、今はそれが大きな心の財産となっています。

現代の三大介護は「安全」「自立支援」「尊厳」がその柱となっていて、幸朋苑では利用者の気持ちを最優先とした介護を行なっています。

介護利用の人生の先輩の方々よりは日々いろいろなことを学び教えてもらい、私自身の成長の糧としています。お互いが対等の立場を築いていくことを目標に、更に勉強していきたいと思っています。

本日の鳥取西RCよりの職業奉仕賞、誠にありがとうございました。

次週例会予定

2014年2月21日(金) 第1614回例会
卓話 会員スピーチ 宮本孟尚さん

